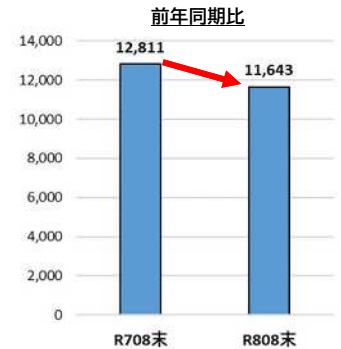
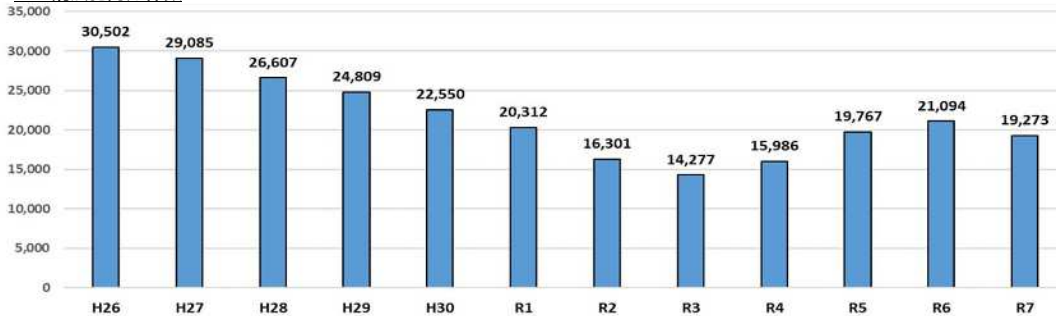


治安概況

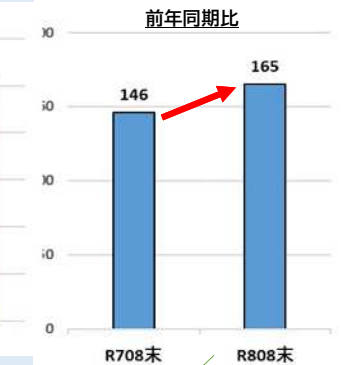
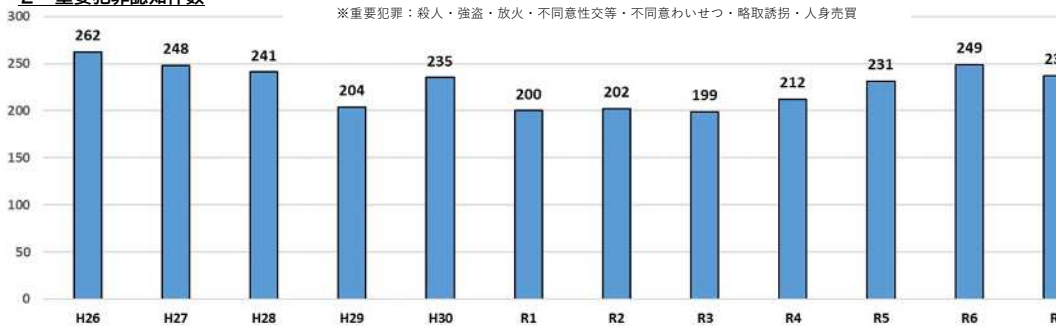
○ 県民の生活を犯罪から守るための取組

1 刑法犯認知件数



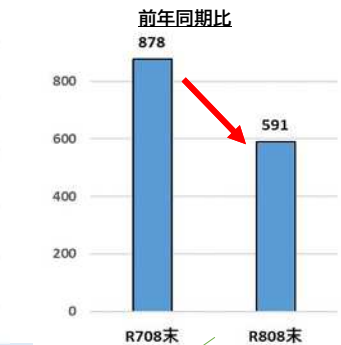
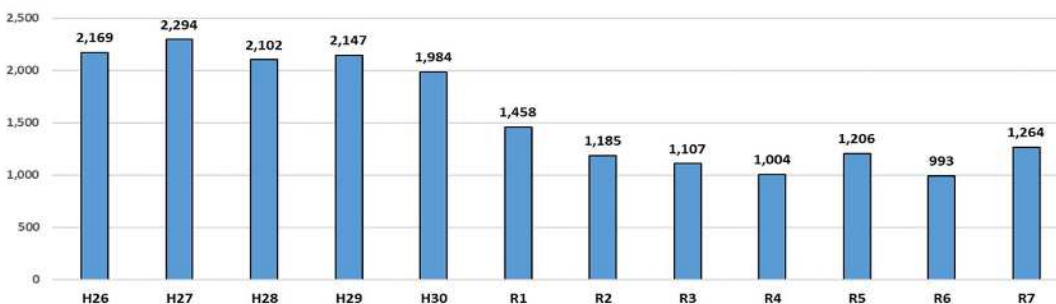
- 県民に防犯対策等を直接働き掛ける「巡回連絡を活用した犯罪へのディフェンス力強化対策」を推進し、約73万世帯に実施
- 犯罪総量抑制プランに基づく、犯罪の総量抑制対策を推進
- 県警察の防犯アプリ「いばらきポリス」（令和 8 年 8 月現在のダウンロード数約27万件）を活用し、タイムリーに情報発信

2 重要犯認知件数



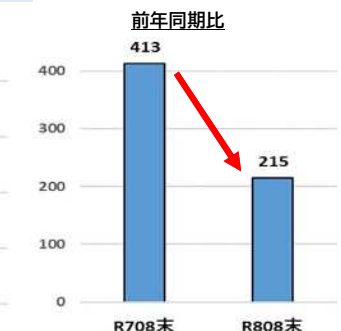
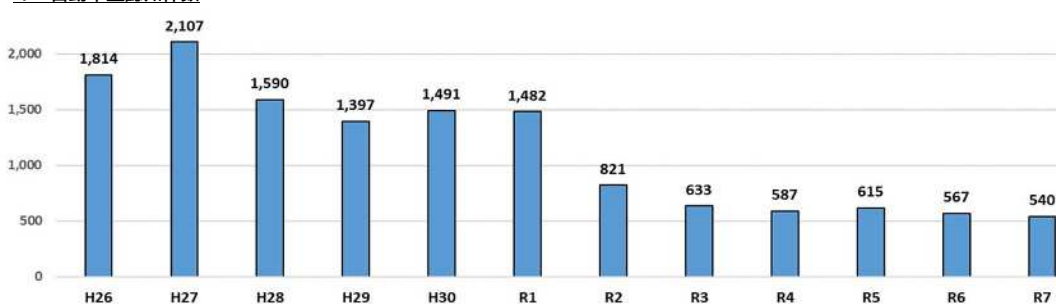
- 令和 8 年 6 月に結城郡八千代町内において発生したコンビニ強盗未遂事件について、被疑者を検挙（R8.7）
- 令和 8 年 8 月に日立市石名坂一丁目地内において発生した車両使用の殺人未遂事件について、早期に被疑者を検挙（R8.8）

3 住宅侵入窃盗認知件数



- 令和 7 年中は県南・県西地域を中心に、夜間家人等の就寝時に侵入する手口（忍込み）による被害が増加
- 住宅の常時施錠の習慣化、防犯フィルムの貼付や補助錠の取付け等による窓ガラスの強化を呼び掛け
- 11都府県で167件の空き巣等を敢行していたタイ国籍の被疑者 3 名を検挙（R8.5）

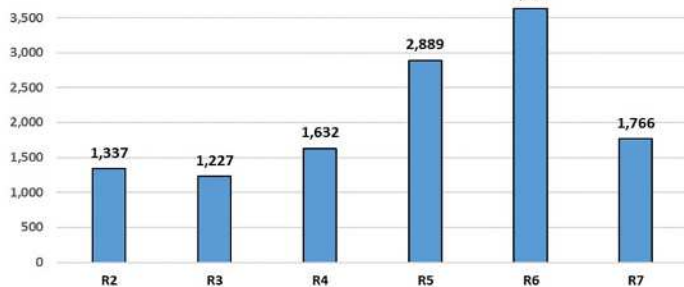
4 自動車盗認知件数



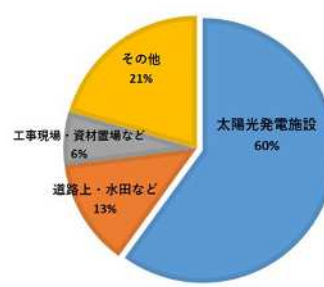
- ヤード警戒員によるヤードへの立入検査や不適格事業者に対する行政処分を推進
- 強固なハンドルロックや駐車場門扉の施錠など複数の防犯対策を呼び掛け
- 県南地域で自動車盗を敢行した日本人被疑者 2 名、ヤード関係者でナイジェリア国籍の被疑者 2 名を検挙（R8.5）

治安概況

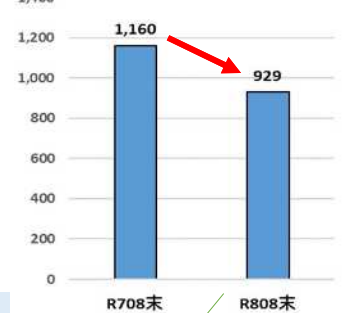
5 金属盗認知件数



発生場所内訳(令和7年中)



前年同期比



-231件(-19.9%)

- 金属盗対策法の全面施行を受け、同法との整合性を確保しつつ事業者の負担軽減等を図るため特金条例を一部改正(R8.6)
- 金属買取業者への立入検査や行政処分、緊急配備支援システムを活用した検挙対策を推進
- 県西地域で太陽光発電施設対象の窃盗を敢行していたタイ国籍の被疑者2名を検挙(R8.6)
- 県北地域で59件のグレーチング対象の窃盗を敢行していた被疑者2名を検挙(R8.7)

6 特殊詐欺認知件数及び被害額



前年同期比

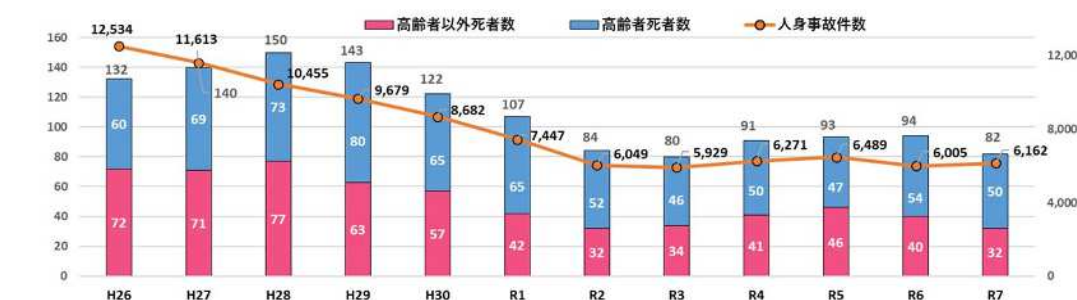


+115件
(+約6億2,800万円)

- 1件当たりの被害額が1,000万円を超える警察官騙りのニセ警察詐欺が多発し、被害総額を押し上げ
- 「警察庁特殊詐欺対策アプリ」の普及を図るため、関係機関・団体と連携した広報啓発活動を展開
- SNS型投資ロマンス詐欺による犯罪収益を収受した被疑者2名を組織犯罪処罰法違反で検挙(R8.1)

総合的な交通安全対策

7 人身交通事故件数等



前年同期比

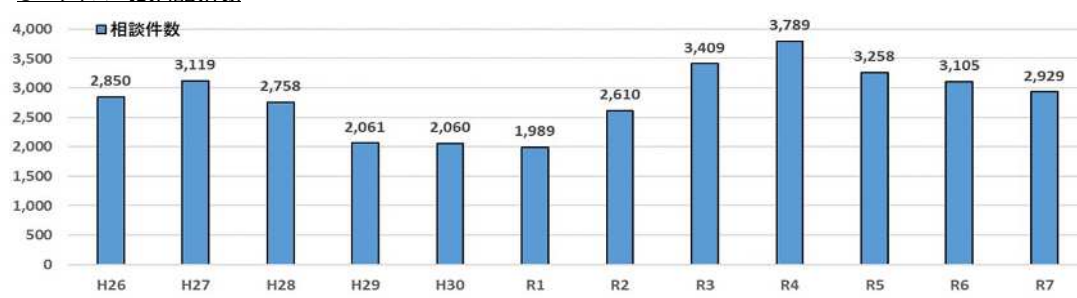


+109件(+25人)

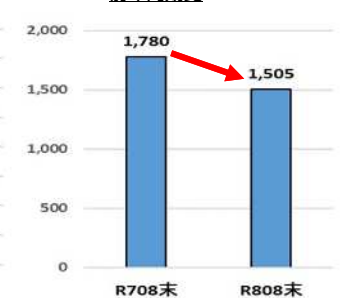
- シートベルトの着用促進、安全運転サポート車や運転免許証自主返納制度の周知等の高齢運転者対策を推進
- 夕暮れ時から夜間の反射材着用の普及啓発、横断歩行者妨害の取締り等の歩行者事故防止対策を推進
- 悪質・危険な運転者に対する厳正な取締りを推進し、令和8年8月末、飲酒運転619件検挙

多様化する脅威への対策

8 サイバー犯罪相談件数



前年同期比



-275件

- 不正アクセス、詐欺・悪質商法、個人情報窃取の被害相談が全体の約8割(1,221件)(8月末)
- サイバー防犯ボランティア及び関係団体と連携したサイバー犯罪被害防止キャンペーンを実施(R8.7)
- 他人名義のバーコード決済を悪用しトレーディングカード等を購入した被疑者4名を電子計算機使用詐欺等で検挙(R8.1)

巡回連絡を活用した犯罪へのディフェンス力強化対策の推進

1 取組の概要

(1) 概要

警察官が**県内の全世帯**を一軒一軒訪問し、犯罪の手口や交通事故の特徴を伝えるとともに、被害に遭わないための具体的な対策を直接働き掛けることで、県民の犯罪や事故に対するディフェンス力の向上に資するもの

※ 巡回連絡とは、交番や駐在所の警察官が行う活動の一つで、各地域の家庭や事業所等を訪問し、事件事故に対する防犯アドバイスや住民の意見・要望の聞き取りを行っている。



(2) 実施期間

令和 6 年 6 月～令和 9 年 5 月（3 年間で一巡を目標）

(3) 働き掛けの内容



2 推進状況等

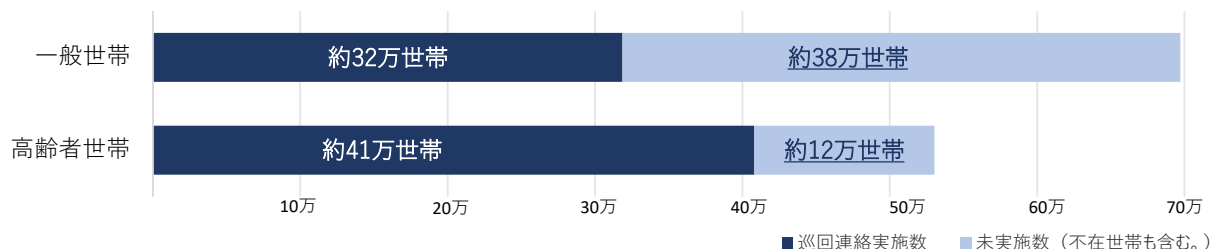
(1) 推進状況（令和 8 年 8 月末現在）

- 不在であるなど面接できていない世帯（不在世帯）を含めて**約92万世帯**を訪問
- 約73万世帯**（一般世帯：約32万世帯、高齢者世帯：約41万世帯）への巡回連絡を実施

※不在世帯の統計開始時期：令和 7 年 6 月

※高齢者世帯：65歳以上の方がいる世帯、一般世帯：高齢者世帯以外の世帯

【世帯別推進状況】



(2) 犯罪等の抑止事例

新潟県の携帯電話ショップ店員を名乗る男から、「あなたの携帯電話が勝手に使われている。書類を郵送するので返送してほしい。その書類は新潟県の警察署に送るので警察署まで電話してほしい。」などと電話があった。以前に駐在所の警察官が巡回連絡で来たときに特殊詐欺防止の助言を受けていたことを思い出し、地元の警察署に通報した。



70歳代男性

3 今後の方針

(1) 不在世帯へのアプローチの工夫

世帯別巡回連絡推進状況は、高齢者世帯が約7割であるのに対し、共働きなど不在であることが多い一般世帯は約4割にとどまる。

- 複数回訪問しても不在の場合には、防犯対策チラシを投函しつつ、パトロールカードを配付して面接希望者方には再訪問して働き掛けを実施



(2) 広報啓発活動専門家による働き掛け

本年 4 月から音楽隊・カラーガード隊員が巡回連絡に従事

- 広報啓発活動の専門家である隊員が、県民と直接触れ合うことで、より効果的な巡回連絡を推進

令和 8 年 9 月 1 日 開 会

①

令和 8 年第 3 回茨城県議会定例会議案

茨 城 県

令和 8 年第 3 回茨城県議会定例会議案目次

	頁
第 93 号議案 令和 8 年度茨城県一般会計補正予算（第 2 号）	1
第 94 号議案 令和 8 年度茨城県港湾事業特別会計補正予算（第 1 号）	11
第 95 号議案 令和 8 年度茨城県都市計画事業土地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）	14
第 96 号議案 児童福祉法に基づき児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	17
第 97 号議案 茨城県幼稚園型認定こども園、保育所型認定こども園及び地方裁量型認定こども園の認定要件に関する条例等の一部を改正する条例	18
第 98 号議案 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	20
第 99 号議案 児童福祉法に基づき一時保護委託者の登録等に関する基準を定める条例	21
第100号議案 茨城県都市公園条例の一部を改正する条例	25
第101号議案 工事請負契約の締結について（潮来保健所新築工事）	26
第102号議案 工事請負契約の締結について（つくば保健所改築工事）	27
第103号議案 工事請負契約の締結について（古河保健所新築工事）	28
第104号議案 工事請負契約の締結について（（仮称）水戸技専実習棟新築工事）	29
第105号議案 工事請負契約の締結について（長井戸沼湛水防除機場 2 期地区 1 号ポンプ設備工事）	30
第106号議案 県が行う建設事業に対する市の負担額について	31
第107号議案 県が行う土地改良事業に対する市町村の負担額について	32
第108号議案 県が行う建設事業等に対する市町村の負担額について	34
第109号議案 訴えの提起について	36
報告第 3 号 地方自治法第179条第 1 項の規定に基づく専決処分について	37

報 告

報告第 3 号

地方自治法第179条第 1 項の規定に基づく専決処分について

別記 4 件のとおり専決処分したので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第179条第 3 項の規定に基づき、報告する。
原案承認されたい。

令和 8 年 9 月 1 日提出

茨城県知事 大井川 和 彦

別記 1

和解について

土浦警察署所属の普通特種自動車の運行に係る交通事故について、下記のとおり和解するものとする。

記

1 和解の相手方

個人

2 和解の内容

(1) 令和 7 年 11 月 28 日（金）午前 1 時 16 分頃、土浦市中貫 2227 番地地先国道上で発生した事故

(2) 事故の概要

土浦警察署所属の職員が、普通特種自動車を運転して出張途中、上記国道において、相手方の軽乗用自動車と衝突し、損害を与えるとともに、損害を受けた。

(3) 損害賠償額

ア 茨城県が支払う損害賠償額 103,512 円

（注）上記賠償額は、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社から支払われるものである。

イ 茨城県が支払を受ける損害賠償額 1,329,240 円

上記については、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるので、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 179 条第 1 項の規定に基づき、専決処分する。

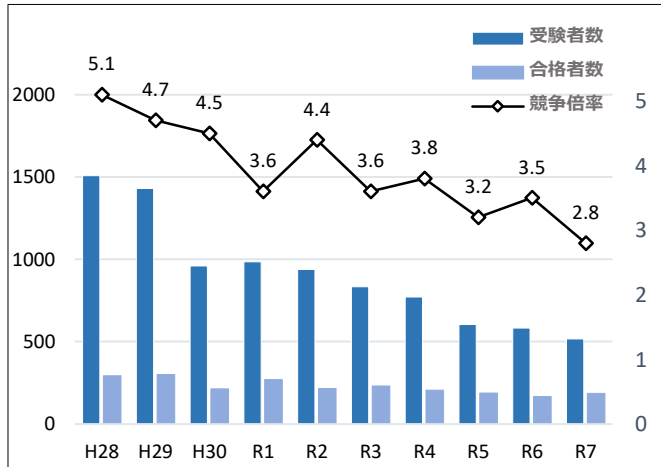
令和 8 年 7 月 14 日

茨城県知事 大井川 和彦

将来を見据えた優秀な警察官の確保について

1 警察官の採用情勢

(1) 警察官採用試験の受験者数等の推移



(2) 令和 8 年度警察官採用試験（第 1 回）の実施状況

	受験者数	合格者数	競争倍率
令和 8 年度 第 1 回試験	286	114	2.5
前年比	+32	+17	-0.1

R 8 年度～

「**体力試験**」⇒「**体力検査**」へ変更

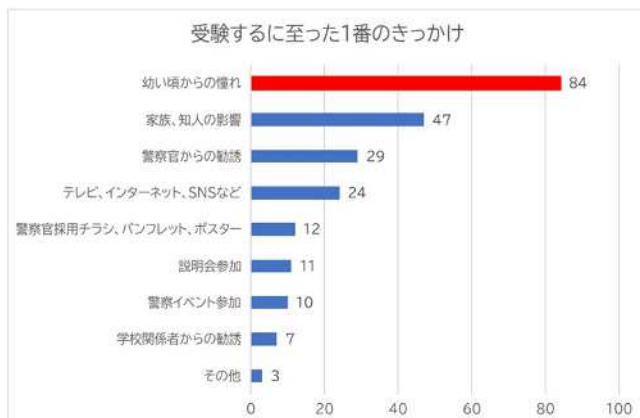
6 種目から 3 種目へ削減

・継続→握力、反復横跳び、上体起こし

・廃止→立ち幅跳び、腕立て伏せ、シャトルラン

(3) 受験者の特徴

- 受験申込者の約 8 割が茨城県出身
- 受験のきっかけは「幼い頃からの憧れ」37%、「家族・知人の影響」21%、「警察官からの勧誘」13%
- 警察官を目指した時期は「高校生」「小学生」がそれぞれ20%、「大学生」18%、「小学生」15%



※ 受験者対象のアンケート結果

若い世代に向け、警察の魅力を発信する取組が重要

2 今後の課題と取組

新たな取組の検討

推進体制の構築

優秀な警察官の確保に向けた緊急対策プラン

【人材確保の 3 本柱】

- ① **組織の魅力向上**
⇒ 業務やキャリアパス等の魅力向上
- ② **若い世代への発信力強化**
⇒ SNS等による情報発信の強化
- ③ **採用の間口拡大**
⇒ 時代に即した試験制度の検討

等

既存の取組の見直し

- **若い世代へのアプローチ**
 - ・業務体験会（鑑識体験、パトカー乗車体験等）や業務説明会の実施
 - ・オープンカンパニー、逮捕術大会見学会等の開催
 - ・小中学生対象の柔剣道大会における採用ブース設置
- **転職希望者へのアプローチ**
 - ・転職者向け説明会の開催
 - ・転職サイトによる継続的な広報
- **潜在層へのアプローチ**
 - ・SNSによる積極的な広報
 - ・警察主催以外の様々なイベントへの積極的参加

等

サイバー事案被害の未然防止に向けた取組

1 情報発信及び広報啓発活動の推進

(1) 各種広報媒体を通じた情報発信

	令和8年 (8月末)	令和7年中
情報発信 件数	76回	119回

- わかりやすく工夫した防犯情報を発信
- 県警公式X及び防犯アプリの活用
- 商工会等のハブとなる団体を通じ、加盟事業者へ情報発信



【県警察公式Xでの情報発信】



【防犯アプリでの情報発信】

(2) サイバー防犯講話の実施状況

	令和8年8月末	令和7年中
実施回数	25回	30回
受講人数	約2,837人	約2,965人
対象内訳	企業・団体22回 教育機関 3回	企業・団体22回 教育機関 8回

- 県内の企業・団体、教育機関等に対する防犯講話を実施



【企業等に対する講話】

2 サイバーセキュリティ意識向上のための取組

(1) 産学官連携による活動状況

- JC3(*)との協働によるオンライン研修コンテンツを用いた啓発活動
- 企業協賛による県内学生対象のサイバーセキュリティ競技会の開催
- 連携協定企業との合同防犯キャンペーン及び広報啓発用品の作成

※ JC3…一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター



【サイバーセキュリティ競技会】



【啓発ポスターお披露目式】

(2) サイバー防犯ボランティアの活動状況

令和8年度(8月末)

人数	76名(一般41名、学生35名)
学生の内訳	大学生等7名、高校生26名、中学生2名

- 各種イベントにおける広報啓発活動
- 児童生徒対象のサイバー防犯講話
- サイバーパトロールによる違法有害情報の発見・通報



【地域イベントでのブース出展】

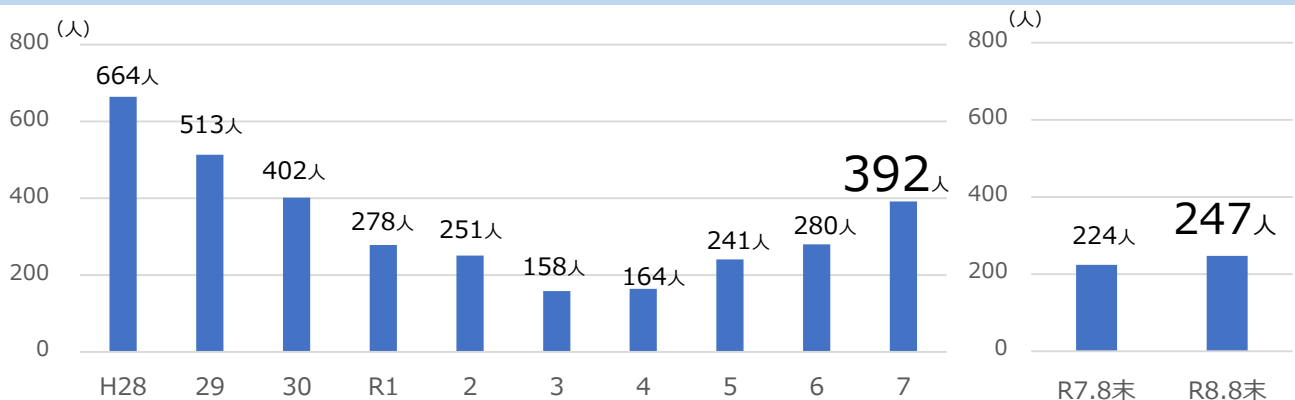


【ボランティアによる講話】

少年非行防止に向けた取組

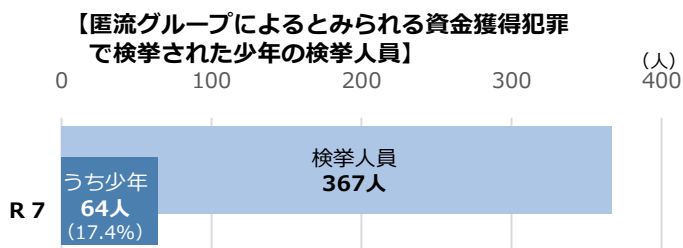
1 少年非行の現状

(1) 刑法犯少年の検挙人員の推移



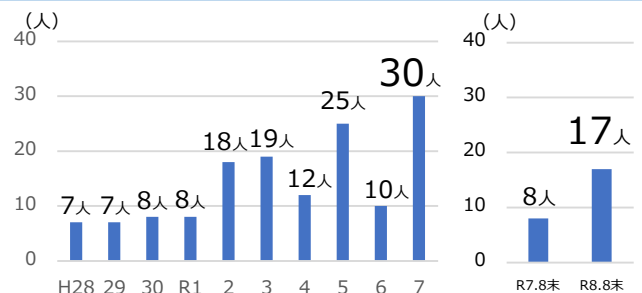
- 令和7年中の刑法犯少年の検挙人員は392人と**4年連続**で増加
- 令和8年8月末247人（前年同期比+23人）と増加

(2) 匿名・流動型犯罪グループへの少年の関与



- 令和7年中、少年の検挙人員は64人と検挙人員全体の約17%
- 主な資金獲得犯罪は、詐欺、窃盗、強盗、薬物事犯、風適法違反

(3) 大麻事犯で検挙された少年の人員の推移



- 令和7年中に大麻で検挙された少年の数は**30人**と増加
- 令和8年8月末は17人と前年同期比+9人の増加

2 少年非行防止に向けた取組

(1) 匿名グループへの関与防止や大麻乱用防止に関する啓発活動

- 県内の高校における匿名グループへの関与防止及び大麻の有害性や危険性について非行防止教室等において啓発
- 少年警察ボランティア（大学生サポーター）が作成した、いわゆる「闇バイト」防止啓発動画やケーブルテレビでの情報発信
- 県警察HP、県警察公式X等の各種媒体を活用した広報啓発
- 少年警察ボランティア等との共同した街頭補導活動により、たまり場となりやすい場所での少年への指導・注意



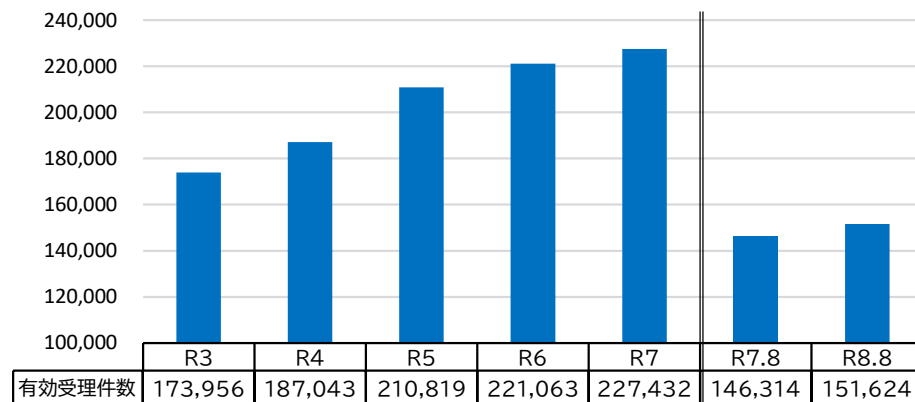
(2) 少年へのサポート活動

- 少年相談コーナー等の窓口で、少年の非行、悩みなどの問題について対応
- 保護者から支援依頼があった少年やその保護者に対して関係機関やボランティアと連携したサポート活動（生活の助言指導、体験活動、学習支援など）

事件・事故への迅速かつ的確な対応について

1 110番通報の受理状況

(1) 110番通報受理件数の推移



※ 有効受理件数には、いたずら電話、間違い電話、回線試験等は計上していない。

- ・ 110番通報の有効受理件数は、年々増加傾向
- ・ 令和8年8月末現在、151,624件（前年同期比+5,310件）で、1日当たり約620件、約2分18秒に1件の割合で通報を受理

(2) 110番通報の適切な利用の促進

事件・事故等の緊急の対応を必要とする場合 → ためらわず110番通報
緊急の対応を必要としない相談等 → 「#9110」や各種相談電話

ア 県警ホームページ、県警公式SNS（X、YouTube等）、マスメディア等を活用した広報啓発



イ 「110番の日」キャンペーンによる呼び掛け



2 110番通報への迅速かつ的確な対応

(1) 通信指令室における一元的な指揮・運用

- ア 通指指令システムを効果的に活用し、110番通報の迅速かつ的確な受理及び指令
- イ 通信指令室において情報を集約し、緊急配備等の組織的な運用



(2) 多様な通報への対応

- ア 通訳人を交えた三者通話の活用
日本語が理解できない外国人からの通報に対応
- イ 110番アプリシステム等の活用
聴覚や言語機能に障害がある方など、音声による110番通報が困難なケースにも対応

3 初動警察活動の強化に向けた取組

(1) 通信指令を担う人材の育成

通報の受理・指令技能を競う競技会や、通信指令に特化した教養等を通じて人材を育成



【通信指令競技会】

(2) 緊急配備訓練の実施

事案対応能力の更なる強化を図るため、重大事案の発生を想定した実践的な訓練を実施



【隣接県との合同による緊急配備訓練】

1 特殊詐欺の検挙対策

(1) 検挙状況

		令和8年8月末	令和7年8月末	前年比
		件数	件数	件数
特殊詐欺		29	22	+7
助長犯	口座（通帳）詐欺	7	2	+5
	犯収法違反（口座譲渡）	63	49	+14
	携帯電話詐欺	1	1	±0
	携帯電話不正利用防止法	0	0	±0
	小計	71	52	+19
合計		100	74	+26

(2) 検挙対策

ア 匿名・流動型犯罪グループの実態解明に向けた捜査を含む効果的な取締りの推進

- ・ 中核的人物の検挙に指向した捜査の徹底等
- ・ 暗号資産追跡等の捜査の推進
- ・ 資金獲得犯罪の取締り等の推進と情報集約
- ・ 関連情報の集約・分析の徹底

イ 海外拠点を含む犯行拠点の摘発による中核的人物の解明・取締りの推進

- ・ 海外拠点に関する情報収集・実態解明
- ・ 関連情報の収集（SNSアカウント情報、発信元IPアドレス等）

ウ 特殊詐欺連合捜査班（TAIT）との連携

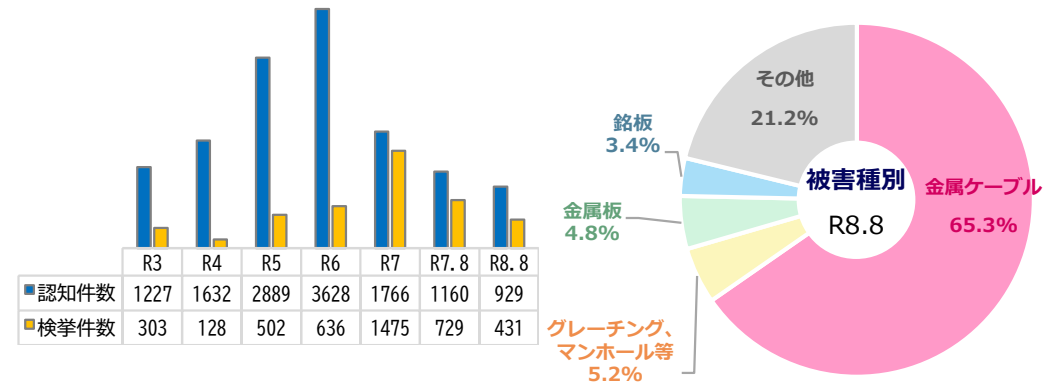
- ・ 管轄の垣根を越えて迅速かつ効果的な捜査を推進するため、各都道府県に特殊詐欺連合捜査班を構築
- ・ 他の都道府県警察の管轄内であっても、証拠が散逸する前に捜査に着手

エ 現場における検挙対策

- ・ だまされた振り作戦等の現場設定型捜査の推進
- ・ 出金場所及びその周辺に係る防犯カメラ捜査の徹底

2 金属盗の現状と対策

(1) 認知件数・検挙件数の推移



(2) 検挙対策

ア 不法滞在外国人の摘発

- ・ 警察活動を通じて不法滞在外国人の蟄集場所、活動拠点等の情報収集
- ・ 東京出入国在留管理局との合同摘発

イ 緊急配備支援システムを活用した検挙活動

- ・ 容疑車両を手配し、警察署と本部が連携して捕捉や職務質問を実施
- ・ あらゆる刑罰法令を適用して検挙活動を推進

検挙事例

- 県西地域で太陽光発電の金属ケーブルを対象に窃盗を敢行していたタイ国籍の被疑者2名を検挙
- 県北地域でグレーチングを対象に59件の窃盗を敢行していた被疑者2名を検挙



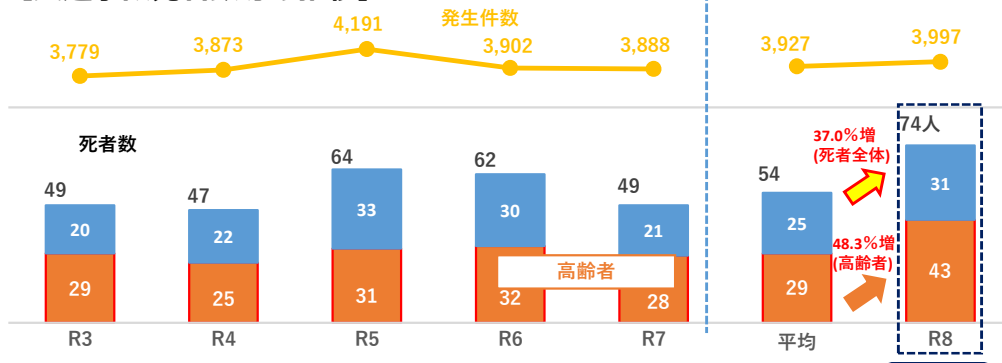
ウ 悪質な金属買取業者の取締り

- ・ 盗品売却先の捜査
- ・ 生活安全部門と連携し、法令違反を行う悪質業者に対し、行政処分を実施

交通事故抑止活動の推進について

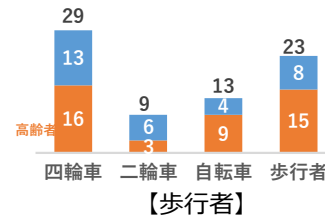
1 交通事故の発生状況【令和8年8月末（速報値）】

【交通事故死者数等の推移】



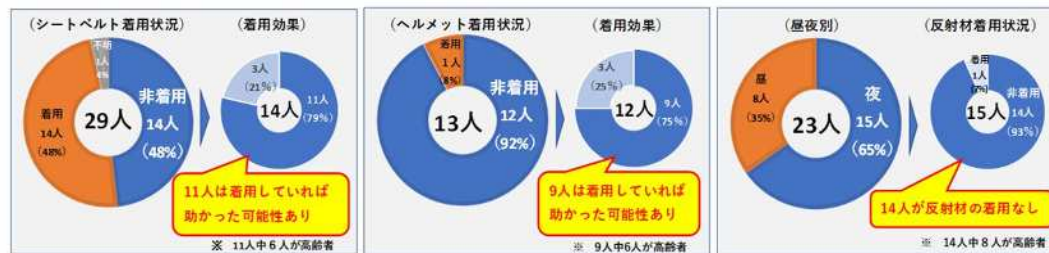
- 死者数は74人(+20人、+37.0%)と増加
- 高齢者死者数は43人(+14人、+48.3%)と増加
- 高齢者の構成率は58.1%
- 状態別死者数は、四輪車は29人で最多、次いで、歩行者23人、自転車13人、最少は二輪車9人

【状態別死者数】

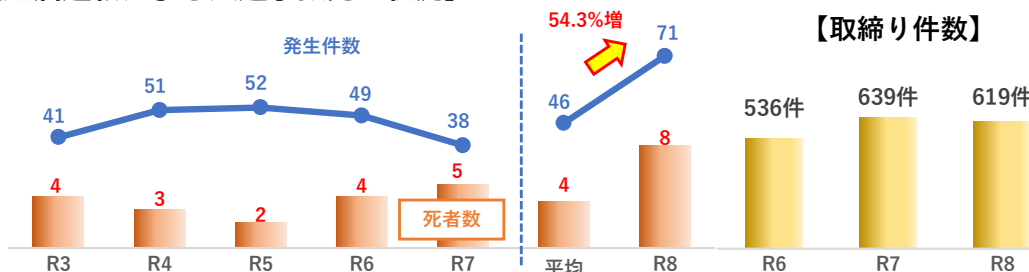


【四輪車】

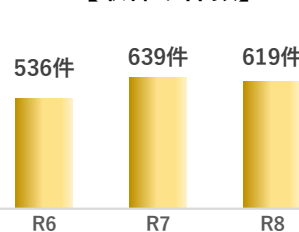
【自転車】



【飲酒運転による交通事故発生状況】



【取締り件数】



2 今後の交通事故抑止対策

(1) 高齢者対策

ア シートベルト

- 県立医療大学と連携して「シートベルト体操動画」の制作（芸能人を起用したキャンペーンを実施）
- シートベルトコンビンサーを活用した体験型の安全教育を展開



【体験型の安全教育】

イ 反射材

- 反射材の普及に特化したイベントを開催(9/26.27)
- 「高齢者が着用しやすい反射材」の制作と展開



【反射材の制作状況】

ウ サポカー及び運転免許証自主返納制度の周知

- 関係機関と連携したサポカー乗車体験、安全運転相談窓口（＃8080）の案内等

(2) 自転車乗車用ヘルメット対策

- 交通事故被害者遺族による講演会の開催(9/17.18)
- 県・教育庁と連携した着用率向上に向けた各種取り組み
- 自転車利用者に対する街頭指導・取締り



【街頭指導・取締り】

(3) 飲酒運転を許さない環境づくりと交通取締りの更なる推進

- 酒類提供飲食店等と連携し、飲酒運転根絶に向けた啓発活動を推進
- 飲酒運転取締り及び検問等による街頭活動の強化



【飲酒検問】

(4) 関係機関・団体等への協力依頼 ～大人が範を示す～

- 県経営者協会に加盟する事業所(約1,300社)に対し、「大人が範を示す取組」の協力要請及び家族等への注意喚起依頼
- 各種会議等を活用した安全講話等の実施



【学警連での安全講話】

機動隊の活動について

1 機動隊の概要

「県機動隊」は、集団警備力によって有事即応体制を保持する常設部隊として設置。原子力災害を含む災害警備等をはじめ、テロ対策等の治安警備に従事

そのほか、大規模イベント等の警備に際して県警察の枠を超えて広域運用される「管区機動隊」や、警察署勤務員から構成される機動隊の補完部隊「第二機動隊」を設置し、絶えず変化する情勢に適応

県機動隊	集団警備力によって有事即応体制を保持する常設部隊	各専門部隊 広域緊急援助隊 等
管区機動隊	大規模警備等に際して県を越えて広域運用	
第二機動隊	警察署勤務員から構成 機動隊の補完部隊	

2 機動隊の活動

(1) 集団警備力の中核としての活動

集団不法事案に対する治安警備、主要な警衛・警護、大規模な災害警備等の集団による警備力が必要となる警備事象に対応

【令和 8 年中の主な災害対応訓練（予定含む）】

- ・第二機動隊員との合同浸水害対応訓練（5月、茨城町）
- ・茨城県警察大震災総合警備訓練（9月）
- ・広域緊急援助隊合同訓練（11月、城里町）

(2) 集団警備力の特性を生かした活動

祭礼や花火大会等の大規模イベントにおける雑踏警備等、集団警備力を生かした活動を展開

【令和 8 年中の主な警備出動（予定含む）】

- ・水戸偕楽園花火大会（7月、水戸市）
- ・常陸國總社宮例大祭（9月、石岡市）
- ・土浦全国花火競技大会（11月、土浦市）



▲土浦全国花火競技大会（R7）



▲常陸國總社宮例大祭（R7）

(3) 専門部隊による活動

災害対策、テロ対策等に的確に対処するため、これらに特化した専門部隊を設置し、平素から技術・技能を研鑽

【災害への備え】

- **広域緊急援助隊**
高度な救出救助能力と自活能力を有し、大規模災害発生後直ちに県警察の枠を超えて派遣
- **レスキュー部隊**
救出救助に係る技術・技能、資機材を用いて、災害等発生時に即応
- **水難救助部隊**
潜水技術等を生かし、災害や水難事故等における救出救助活動等を展開



▲水難救助部隊の訓練状況

【テロ等への備え】

- **原発特別警備部隊**
原子力関連施設におけるテロ事案等の未然防止・対処を行うため、24時間体制で警戒警備を実施
- **爆発物対策部隊**
爆発物使用事案が発生した際に、X線透視装置や遠隔操作式爆発物処理用具等を使用して爆発物の現場処理に当たり、爆発被害の防止及び証拠保全を実施
- **NBCテロ対策部隊**
核（Nuclear）、生物（Biological）、化学（Chemical）物質を使用したテロを認知した際に、放射線測定器等の高度な装備資機材を駆使して、初動措置に従事
- **銃器対策部隊**
銃器を使用した重大突発事案に対し、サブマシンガンや防弾衣等を装備して被疑者を検挙・鎮圧



▲爆発物対策部隊の訓練状況



▲NBCテロ対策部隊の訓練状況